

元米兵事件糾弾！海兵隊は撤退を！怒りは限界を超えた！



元海兵隊員による残虐な蛮行を糾弾！
被害者を追悼し、海兵隊の撤退を求める県民大会

2016年6月19日、沖縄県那覇市奥武山公園にて、「元海兵隊員による残虐な蛮行を糾弾！被害者を追悼し、海兵隊の撤退を求める県民大会」にJR東労組青年部から27名で参加しました。

元海兵隊員による女性遺棄事件を断固糾弾し、二度と繰り返さないために、65,000人（主催者発表）が県民大会に結集しました。県民の人権といのちを守るため、米軍基地の大幅な整理、縮小、海兵隊の撤退、日米地位協定の抜本的改訂を決議しました。



共同代表：玉城 愛さん
あいさつ（一部抜粋）

被害に遭われた女性へ。絶対に忘れないでください。あなたのことを思い、多くの県民が涙し、怒り、悲しみ、言葉にならない重くのしかかるものを抱いていることを絶対に忘れないでください。

安倍晋三さん。日本本土にお住まいのみなさん。今回の事件の「第二の加害者」は、あなたたちです。しっかり、沖縄に向き合ってくださいませんか。いつまで私たち沖縄県民は、ばかにされるのでしょうか。同じ世代の女性の命が奪われる。もしかしたら、私だったかもしれない。私の友人だったかもしれない。信頼している社会に裏切られる。何かわからないものが私をつぶそうとしている感覚は、絶対に忘れません。